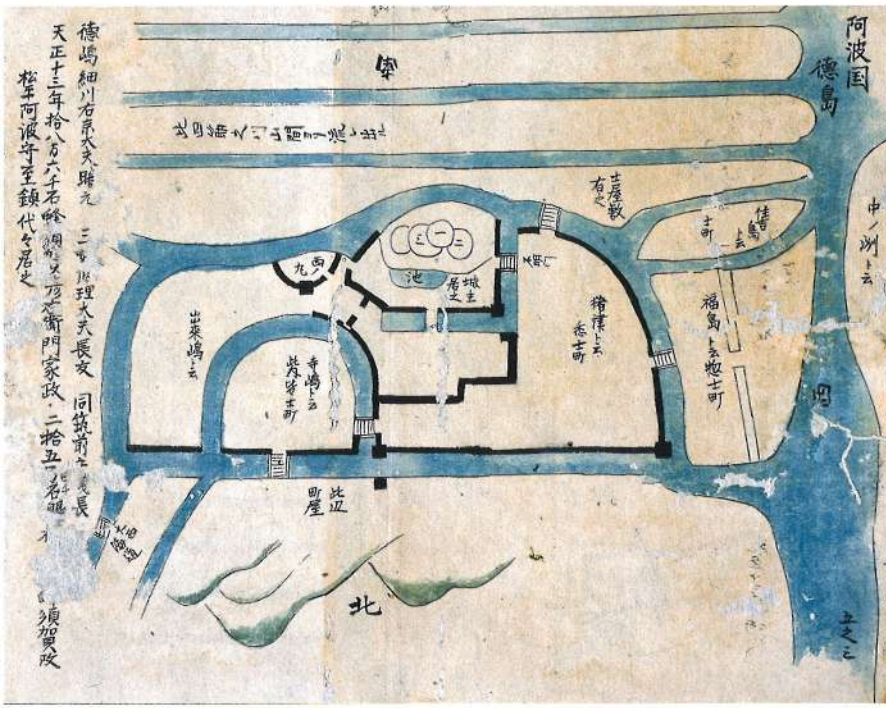


春の企画展

幻の城 徳島城

天正一四年（一五八六）の築城からおよそ三〇〇年もの長きにわたり、藩主蜂須賀家の居城として、阿波の政庁であり続けた徳島城。明治の世に入って間もなく、藩主家は城を去り、その建物は姿を消してしまいました。かつての栄華を物語る品々は現在もなお受け継がれています。この企画展では、徳島城にまつわる様々な資料を取りそろえ、今は「幻の城」となった徳島城の姿を、歴史の彼方からよみがえらせます。



阿波国徳島城図
江戸時代 徳島城博物館蔵
(中川完治氏寄贈)



蜂須賀家政画像
江戸時代
中津峯山如意輪寺蔵

柳に水車図板戸
江戸後期
徳島城博物館蔵
徳島県指定文化財



徳島城古写真
明治初期 徳島城博物館蔵

茶碗、搦鉢(破片)、灯明皿
江戸時代 徳島市教育委員会蔵

